



シルバー高島

発行/公益社団法人高島市シルバー人材センター 広報部会 滋賀県高島市勝野1365 TEL (0740)36-8191 FAX (0740)36-8010



今津・平池/山田 祐市さん(高島)

(社)高島市シルバー人材センター

第十二回 通常総会開催

去る三月三十日(水)新旭公民館大ホールにおいて、会員数五四五名の内三五八名(内委任状一四一名)の会員が出席し、盛大に開催されました。

当日は、市長 西川喜代治様、市議会議長 大西勝巳様にご臨席をいただき、ご祝辞を頂戴しました。

また、議長はマキノ町の滝 輝夫様にお願ひし、慎重審議をして頂き、議案は原案どおりに可決されました。

総会閉会后、高島市環境政策課の方より、高島市との協働提案事業「ごみ減量作戦」について説明を受けました。

議事

- 議案第一号
平成二十一年度補正予算について
- 議案第二号
平成二十三年度事業計画(案)について
- 議案第三号
平成二十三年度収支予算(案)について
- 議案第四号
フランチナ会員運用規程変更(案)について
- 議案第五号
総会運営規則について

祝辞紹介

高島市長 西川喜代治様より、第十一回通常総会開催のお祝いとして、東日本大震災に対するお見舞いの言葉を頂き、高島市の支援活動状況についてお話し頂きました。

高島市では、早期の救急消防隊の出勤に始まり、医療チームの派遣・給水活動等行なっておられ、義援金も二五〇〇万円に達し、市民の皆様からのあたたかい援助物資も多数ご支援頂いた事に対するお礼を述べられました。

また、高島市では年間可燃ごみが二万トン出ますが、そのうち紙ごみが半分を占めています。この紙ごみを資源にするとごみが大幅に減ります。



無駄を省き有効な資源として再利用する取り組みが大切で、市とシルバーとの協働事業である「ごみ減量大作戦」へのご協力を、会員の皆様も宜しく願いますと、結びられました。

高島市議会議長 大西勝巳様からも、今回の東日本大震災の犠牲者の方に対するお見舞いの言葉を頂き、第十一回通常総会開催のお祝いを述べられました。

長引く経済不況により雇用の悪化など社会情勢が大変厳しい中、困窮の世代がシルバー時代を迎えており、シルバーが地域で果たす役割は今後益々重要になっていきます。

そこでシルバー会員の皆様には、長年に亘り培ってこられた知識や経験・技能を活かし、幅広い活動により時代の変化に対応できる強い組織を持つて、地域に活力あるお力添えをいただきたいとお話されました。



平成二十三年度

事業計画基本方針

1 基本方針

平成二十三年度は新公益法人としてスタートする大切な年となります。

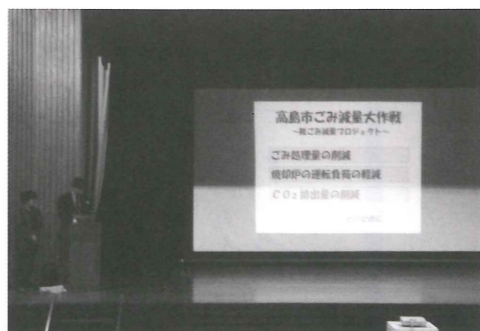
日本の経済は景気不況から脱しきれず、今尚厳しい状況が続いています。受託事業も平成二十二年度は前年度を上回るまでに回復しました。しかし、シルバー人材センターを取巻く環境は益々厳しさを増しています。更に、政府の行政刷新会議の事業仕分第三弾で、シルバー人材センターに対する補助金縮減の評定がなされ、今後の運営のあり方が憂慮される事象となってきました。

シルバー人材センターの基本は、永年に亘って培われてきた会員の知識や技能、経験を生かしながら働くことを通じて健康を維持し、生きがいを求める高齢者に応じた就業の機会を提供することであり、本年度もシルバー人材センター事業の理念である「自主・自立・共働・共助」を念頭に置きながら、積極的に地域社会に貢献する事業運営を展開することとします。

2 事業実施計画

①就業機会の確保及び提供

▼高島市の協働提案事業（紙ごみ減量作戦）に参画し、受託事業として平成二十三年度より取り組みを実施します。



総会で「ごみ減量大作戦」を説明する市担当者

▼経済環境の厳しいなか、過去の利用者に対する利用促進の案内通知により、就業の確保に努力します。

▼PR活動には広報誌・会員の口コミ協力を得て、シルバー事業の普及啓発に取り組みます。

②独自事業の推進

▼刃物研ぎ事業

新旭町・安曇川町・今津町の三地区で実施している刃物研ぎ事業を広く市民にPRし、事業の拡大を図ります。



▼特産品販売事業

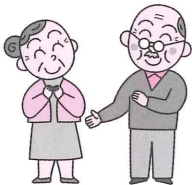
道の駅「藤樹の里あどがわ」と「しんあさひ風車村」で、手芸部・木工部会員による製品が好調に推移しており、今後も従来どおりの出品を進めてまいります。

▼剪定枝葉の堆肥化事業

平成二十三年度は肥料としての生産・販路拡充に努めてまいります。

③無料職業紹介

適正就業の観点から、臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務の雇用による就業を希望する会員に対して、公共機関と連携を図りながら無料職業紹介事業をおこないます。



④安全・適正就業対策推進事業

センターは高齢者の生きがいづくりの場であり、会員の安全意識の高揚を図り、傷害事故の絶滅を期すると共に適正就業の確立をはかります。

- ・安全・適正就業委員会の開催
- ・適正就業のあり方についての検討
- ・安全・適正就業規程の遵守指導と督促
- ・会員就業現場のパトロール
- ・安全就業啓発資料の配布と安全大会の開催

⑤普及啓発活動

シルバー人材センターの設置目的、理念、仕組みやあり方の理解を得るPRを行ない会員の増強ならびに事業拡大を図ります。

- ・広報紙「シルバー高島」の発行（年四回の継続）
- ・普及啓発推進月間（十月）を重点的にボランティア活動を行ない、地域社会よりシルバー人材センターに対して理解と協力が得られるようにする。
- ・市民・会員対象に各種技能講習会の取り組み。
- ・各地区ごとに時宜に適したボランティア活動を展開する。

⑥福祉・家事援助事業

当センター事業部会の福祉・家事援助班が主体となって、自治体や社会福祉協議会等との連携を図りながら、地域住民からの需要に応えられるようにします。



⑦公共団体等への参加事業

「セーフティータカしま」交通安全推進協議会事業、「高島市災害ボランティア活動連絡協議会」事業については、高齢化社会に対応して展開される事業であり、積極的に参加を行なう事にします。

⑧企画提案方式事業の推進

企画提案方式事業は国が推奨した「教育」「子育て」「介護」「環境」の四分野に、平成二十三年度は新たに「第一次産業」「観光」が追加され、高島市や社会福祉協議会等と連携を図りながら、事業化へ向けて推進して行きます。



高島市との協働提案事業

ごみ減量大作戦

厳しい経済環境の中、新規事業の獲得に苦勞しておりますが、昨年九月に高島市から協働提案事業の募集があり、当センターと致しまして初めての取り組みですが応募致しましたところ、無事に採択されました。

総会の席上、平成二十三年度事業方針として申し上げました、新しい取り組みで、高島市と一緒に「紙ごみ減量作戦」を実施する事になりました。「燃えるごみ」の処理のため大変な費用がかかっていることについて、市の担当者の説明で会員の皆様にはご理解をいただけたことと思います。

私たちが取り組む仕事は、高島市内の区・自治会の役員さんを対象に「紙ごみ減量」の必要性について三人一組で説明に上がり、役員さんを通じて地区住民の方々に啓発、徹底を図っていただくようお願いをする仕事です。高島市で用意していただく資料、DVDの映像により説明を実施しますので、区・自治会の役員さんに十分ご理解いただく事が大切です。皆様の熱意ある取り組みを期待しております。

事務局よりお知らせ

役員研修で学ぶ

▽東近江市を訪問△

去る、二月十六日(水)に(社)東近江市シルバー人材センターへ、理事長以下役員十六名が訪問しました。

先進地のシルバー事業運営の概要や、企画提案事業・指定管理者制度の取り組み等について研修をしていただきました。

特に東近江市シルバーでは、企画提案方式事業の中で「めぐり逢い元氣工房事業」として、商店街の空き家を借り受け会員の作品を販売したり、「スマイルキッズ事業」では子どもの一時預かりやリトミック教室を、また「ほのぼの事業」では介護予防教室等を積極的に実施されていました。



指定管理も緑地管理を受けておられ、今後参考になる事例を沢山勉強させていただき自身の濃い研修となりました。

地区別懇談会開催

平成二十二年度も高島地区を筆頭に、高島市内六地区で地区別懇談会を開催しました。

議題は主に、公益社団法人への移行申請の状況や、事業の進捗状況、高島市との協働提案事業についての説明、今後のあり方についてでした。

多くの参加者と熱心な質疑応答がされました。今後とも、当センター発展のため、会員の皆様方の尚一層のご協力をお願い致します。



安全就業の注意点

シルバー保険について

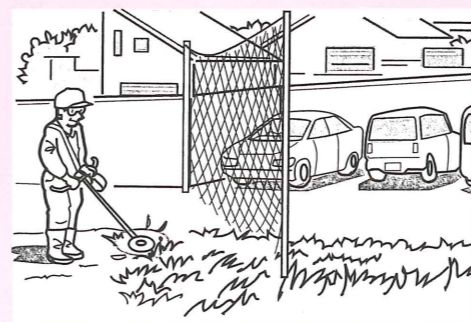
高島市シルバー人材センターでは、万一のことを考えて団体傷害保険と、賠償責任保険に加入しています。

▽団体傷害保険では作業中、作業場所への往復途中中の怪我を一八〇日を限度に補償します。

保険金は入院日額四、〇〇〇円、通院日額二、〇〇〇円です。病気や熱中症は補償できません。

▽賠償責任保険は会員の作業に起因して第三者に損害を与えた場合、その損害を与える前の状態に戻すためにかかる費用を補償します。

※次に示すような場合はシルバーの賠償責任保険では補償できません。個人で加入している賠償責任保険か自費で損害を賠償することになりますので十分注意してください。



- ・剪定作業で木を枯らした場合
- ・会員が一緒に行った会員の車に損害を与えた場合
- ・車に起因する事故(交通事故)は自動車保険で対応
- ・草刈作業では、「防護ネットや飛石防止板を使用すること」、「ワイヤー(ひも)での草刈作業は禁止」となっていますので、それらの決まりを守らないで発生した事故

会員の広場

シリーズ 私の健康法



今津 有田 萬里子

若い頃からスポーツを通じて体は動かして来たつもりでしたが、需要(運動)と供給(食事)のバランスが悪かったのでしょうか、長年の早食いとドカ食いが原因だろうか、体の外側だけでなく、内側にもしっかりと脂肪を溜め込んでしまい、市の健康診断で現代病の一つである「メタボリックシンドローム」と診断されました。

そこで、この際「メタボ」克服対策と又、長年の夢である普通サイズの体型を得る為の健康法に挑戦しました。

まずは朝のラジオ体操、月二回のラージ卓球・気功・太極拳、さらに単独で出来てなおかつ有酸素運動可能な「速歩き」をとり入れ、ひたすら歩け歩けを実行しています。しかしただ歩くだけでは今いちつまらないので、歩きの中に「楽しさ」を見い出すものとして、ハイキング、琵琶湖一周ウォーキング等目標にスタートしました。すでにマキノノ雄琴間は達成していますが、目的地へ向い歩き始め

る時のワクワク感最高に楽しい時でした。しかし、精神的には仲間達とのおしゃべりや、遊びの計画に夢を膨らませている時が、私にとって一番の「私の健康法」かも…。はたして「メタボ」は克服出来るのでしょうか？

新風 新入会員より

マキノ 赤崎 太一郎

会員となり五ヶ月、介護事業所のデイサービスの利用者さんの送迎を主に担当させていただいております。その際の利用者さん同士の何気ない会話やご家族との遣り取りにも、六十五歳のこの年までこの地で生活していながら、皆目、地域のことを知らなかった自分に出会うことが多く、日々が新鮮です。又、利用者さんから「ありがとうございます」「おおきに」等、お礼の言葉をいただくことも多く「仕事なのに」と恐縮しながらも心地良いものです。このような職場は稀だろうと思いますが、そんな仕事に巡り合えたことに感謝しております。反面、車にまつわる事故は後を絶たず、特に高齢者の送迎では降り降りにも細心の注意が要求されます。ご迷惑をおかけすることのないよう安全運転をモットーに、初心に帰って、何処まで続けられ

雑感

安曇川 添田 延

るか分かりませんが、これからの人生を健康で充実したものにしていきたいと思っております。

私は入会して約十年になります。当時は草刈が多く、草刈作業をしている場面を初めて見ました。今迄草刈機を使ったことがなく恥ずかしい思いでした。シルバーには車の運転希望で入会いたしました。社会福祉協議会のマイクロバスへ乗務の依頼があつて、お年寄りの人たちを各学区ごとに生きたいサロンの場へ送迎をしたり、又、ふれあいバスの送迎をさせてもらいました。又、ペットボトルの回収や廃油の回収にも携わり、ペットボトルをプレスして出来たブロックをPTバンドをかけて三段積みにする作業では腰痛を起したこともありました。

現在は安曇川デイサービスの送迎とお達者クラブ・元氣づくり教室の送迎もさせてもらっております。車の運転は長いのですが過信をしない様に気をつけています。シルバー人材センターより派遣され仕事をさせてもらっているという事を頭に置いて、毎日が安全運転に心がけ今日に至っております。シルバー人材セン

新入会員のお知らせ

二十三年四月一日までの入会者

氏名	連絡所名	地区(班)名
川越 和代	安曇川	広瀬・安曇
中山 清枝	安曇川	本庄
大岡 利一	安曇川	本庄
川島美喜子	安曇川	広瀬・安曇
佐藤 昇	北部	マキノ(南)
杉淵 誠	北部	今津(西)
菅浦 武夫	北部	今津(南)
奥村 英夫	本部(高島)	高島2班
高城 義男	本部(高島)	高島2班
田中 一成	本部(高島)	高島2班
寺尾恵美子	本部(高島)	高島2班

会員数

二十三年四月一日現在

地区名	男	女	合計
安曇川	73	43	116
マキノ	70	15	85
今津	73	28	101
朽木	24	13	37
高島	61	25	86
新旭	79	48	127
合計	380	172	552

私の作品紹介



写真 添田 暁子 さん (安曇川)



木工作品 前川 正作 さん (今津)



押し絵 K・K さん

俳句

新旭 進士 良治

- ・夏めきて 白さが目立つ 頃となり
- ・大屋根の 光る瓦や 柿若葉
- ・飛魚の 翼の光り 船に浴ひ

川柳

H・H 老

- ・汗・油で 守った田畑 一瞬パー
- ・災いと 言へばそれまで 諦めず
- ・今朝までは ④の家庭も 夜は断絆

原稿募集!

会報「シルバー高島」へ原稿をお寄せください。感想文・雑感・短歌・俳句・川柳や作品の写真なんでも結構です。「広報役員・連絡所・本部へお届け下さい。」お待ちしております。

又、シリーズ的に会員皆さんの「私の健康法」と題して掲載させていただきます。皆さんのいろいろな健康法を教えてください。今回作品をお寄せ頂きました皆様、本当にありがとうございました。

編集後記

今年の冬は一月に大雪が降ったかと思えば、二月は一転暖かい日が続き、三月には再び厳しい寒さに見舞われました。とはいえ、例年より遅めながら桜の花もほころび、いよいよ春本番といったところです。

今号は春の総会を中心に編集しましたが、ほかに皆様からいろいろな原稿をいただき、充実した内容となりました。本当にありがとうございました。

東日本大震災の被災地では今も苦難の日々が続いています。被災された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りします。

広報部会